

親子で納得

ニュースな経済学



経済ジャーナリスト・内田裕子

お盆休みですね。帰省する人たちが駅や道路はごった返しますが、その風景が今年はいつもととは少しちがったものになりそうです。

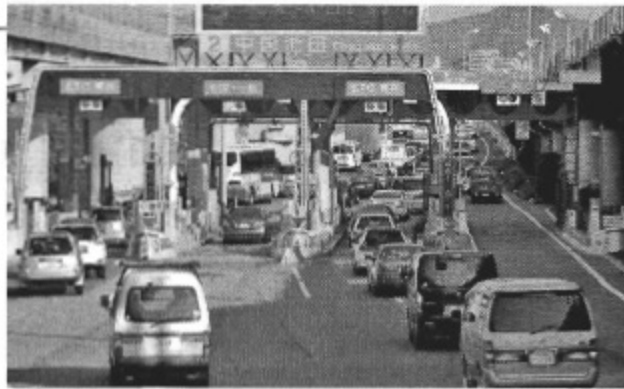
「高速道路1000円乗り放題」。景気対策として今年の春から始まった高速料金の割引措置です。地方は土日・祝日、ETC（自動料金収受システム）搭載車に限り上限1000円となっていました。お盆休みとなる8月6、7日、13、14日も特別に高速料金を1000円にすることにしました。これは安い！ 毎年、帰省にかかる高額な交通費に頭を抱えていたおうちにとっては、ありがたい話として受け止められました。

例えば、青森に帰省を考えると、家族4人（大人2人、子ども2人）で東京から八戸まで、

高速道路値下げで鉄道会社に影響

新幹線「はやて」に乗って帰省したら、電車賃は往復で9万3280円かかります（JR東日本窓口調べ）。一方、車で行くとうなるのでしょうか。まず高速料金が往復2000円（ただし首都圏のルートは別料金がかかります）。ガソリン代は往復2万円弱（東京からの距離約700キロ、燃費1リットル当たり10キロ、ガソリン代1リットル＝120円で計算）ですみます。木況の影響で多くのおうちの家計が苦しいわけですから「車で帰省しよう」というおうちが増えます。

当然、鉄道会社は悲鳴を上げています。8月1日、JR旅客6社が8月7～18日の指定席の予約状況を発表しました。1043万席のうち、予約が済んでいるのはわずか348万席だけでした。JR発足以来最大の落ちこみになっています。さすがに帰省のピークとなる12、13日午前の下り、15、16日午後の上りは満席になっていますが、予約率は去年同時期より13%減だそうです。高速料金1000円の影響は予想以上に大きいようです。



そうなると心配なのは高速道路の「渋滞」です。今年的高速道路の渋滞予測を見ると、10キロ以上の渋滞が発生する可能性は704回もあるそうです。去年は331回だったそうですから、今年は倍以上発生するということです。渋滞がひどくなれば二酸化炭素もたくさん出てしまいますね。

輝かしい出来事の裏側に、影になる部分が生まれるというのは、経済にはよくある話なのです。

プロフィール 玉川大学芸術学部演劇専攻卒業後、大和証券に入社。2000年に財部誠一事務所に移籍。製造現場の取材や経営者のインタビューなどの仕事をこなす。テレビ出演、執筆、講演活動を通じて経済の情報を伝えている。ウェブサイトは、<http://www.takarabe-hrj.co.jp/uchida/>

高速料金値下げで、各地の交通量が増え、また大阪府池田市で ©朝日新聞